

**沿
岸**

久慈支局 0194(53)3030
宮古支局 0193(62)1771
釜石支局 0193(23)5107
大船渡支局 0192(27)3070
陸前高田支局 0192(55)2590

販売店

大野	(77)2546	岩泉	(22)2304
八木	(67)2241	小川	(25)4063
中野	(67)2126	区界	(77)2101
種市	(65)5165	釜石	(25)1250
久慈	(52)1114	唐丹	(55)3016
久慈瀬	(53)2895	鶴住居	(28)3244
侍浜	(67)2126	大槌	(42)5691
山形	(72)2039	大船渡	(26)3122
野田	(78)3567	盛	(27)1980
普代	(35)3545	末崎	(56)4910
みやこ	(62)1615	越喜来	(44)3568
みやこ河南	(65)0555	高田	(55)2710
津軽石	(65)0555	小友	(56)2235
田老	(87)2062	広田	(56)4910
山田	(82)9517	住田	(46)2544
小本	(28)2047	気仙沼	(22)0202

室蘭市から派遣された給水車の水を受け取る住民



北海道室蘭市は15日、台風19号の影響で断水となつた室蘭市田老の檜内地区で給水支援を行った。富蘭フェリーの就航を機に両市が8月に結んだ災害時の相互協力応援協定に基づく対応の第1号。フェリーでつながる「隣町」からの支援に、住民から感謝の声が上がった。

檜宮内・地田老

フェリーが結ぶ支援 台風で断水、住民感謝

ざらいの言葉を掛け、各家庭に持ち帰った。同地区は約1・3世帯300人が住んでおり、14日夜から断水が発生した。親族から給水車が来ていました聞き入れた。子どもから高齢者まで「ありがとうございます」とおしゃね

るところ聞き、駆けつけた主婦飯塚順子さん(64)は「遠く室蘭市から来ててくれたこと洗濯、食器を洗うな生活にびっくりした。トイレや水は欠かせず、本当に助かる」と感謝した。

14日朝に本県入りし、給水活動に当たった室蘭市防災対策課の武田学主幹は

「テレビでは関東の報道が

中心で分からなかつたが、

実際に来て被害の大きさに驚いた。今後も情報共有し

ながら、宮古市との応援関係を築いていきたい」と力強く話した。

14日朝に本県入りし、給水活動に当たった室蘭市防

災対策課の武田学主幹は

「テレビでは関東の報道が

中心で分からなかつたが、

実際に来て被害の大きさに驚いた。今後も情報共有し

ながら、宮古市との応援関

係を築いていきたい」と力

強く話した。

14日朝に本県入りし、給水活動に当たった室蘭市防

災対策課の武田学主幹は

「テレビでは関東の報道が

中心で分からなかつたが、

実際に来て被害の大きさに驚いた。今後も情報共有し

ながら、宮古市との応援関

係を築いていきたい」と力